

各教科の見方・考え方（小学校編）

国語	<p>言葉による見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」）</p> <p>対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること</p>
社会	<p>社会的事象の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」）</p> <p>社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに注目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること</p>
算数	<p>数学的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編」）</p> <p>事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること</p>
理科	<p>理科の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編」）</p> <p>【見方】</p> <p>自然の事物・現象を、「エネルギー」を柱とする領域では、主として量的・関係的な視点で捉えること、「粒子」を柱とする領域では、主として質的・実体的な視点で捉えること、「生命」を柱とする領域では、主として共通性・多様性の視点で捉えること、「地球」を柱とする領域では、主として時間的・空間的な視点で捉えること</p> <p>【考え方】</p> <p>問題解決の過程の中で用いる、比較、関係付け、条件制御、多面的に考えることなどといった考え方</p>
生活	<p>身近な生活に関わる見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編」）</p> <p>身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする</p>
音楽	<p>音楽的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」）</p> <p>音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること</p>
図画工作	<p>造形的な見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編」）</p> <p>感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと</p>
家庭	<p>生活の営みに係る見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編」）</p> <p>家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること</p>
保健体育	<p>体育の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編」）</p> <p>運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること</p> <p>保健の見方・考え方（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編」）</p> <p>個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること</p>
外国語活動	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方</p> <p>（引用：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編」）</p> <p>外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること</p>